

旧正宗寺三匠堂（通称：「さざえ堂」）構造調査報告会

「会津さざえ堂

いまとこれから」

2009年 11月 14日（土） 13:30～16:00

於：東京大学生産技術研究所 An棟コンベンションホール



【主催】会津さざえ堂を愛する会

【お問い合わせ】

「会津さざえ堂 いまとこれから」実行委員会
Fax: 03-5452-6841 Mail: mokuzo@iis.u-tokyo.ac.jp

旧正宗寺三匠堂（通称：「さざえ堂」）構造調査報告会

「会津さざえ堂 いまとこれから」

第1部 報告会 (13:30 ~ 16:00)

1. 挨拶

趣旨説明：六角鬼丈（東京藝術大学名誉教授）

主催挨拶：佐藤誠次（「会津さざえ堂を愛する会」副会長）

企画挨拶：神山和郎（「社団法人 日本住宅建設産業協会」理事長）

2. 基調講演

「巡る建築 その価値と魅力」 鈴木博之（青山学院大学 教授）

3. 調査報告

腰原幹雄（東京大学生産技術研究所 准教授）

4. パネルディスカッション

菅家一郎（会津若松市長）、鈴木博之、六角鬼丈、熊倉純子（東京藝術大学 准教授）

進行役：腰原幹雄

第2部 懇親会 (16:00 ~ 17:00)

旧正宗寺三匠堂（通称：さざえ堂、国重要文化財指定）は、西暦1796年の造立（新編会津風土期による）で、堂には郁堂和尚の筆になる寛政9年の扁額が残る。

さざえ堂は、仏堂建築としては、他に例を見ない特異なもので、六角形平面をもち、六本の心柱（円柱）と同数の隅柱（六角柱）を駆使して、二重螺旋のスロープで作り上げられている。

正面から入ると、右回りに螺旋状のスロープで登り、頂上の太鼓橋を越えると降り左回りスロープとなって背面出口に通ずる。スロープの内側に沿って西国札所の三十三観音像が祀られ、一度入ると巡礼を終えたことになるという、いわば江戸時代における庶民のための身近な巡礼の建物であった。

今般、社団法人日本住宅建設産業協会の協力のもと、東京大学生産技術研究所にて「会津さざえ堂の構造性能評価」を執り行った。その結果、螺旋構造建築による構造的歪みによる「抜け出し」という現象（柱と梁が外れた状態）が多く見受けられた。

本報告会にて、調査結果をもとに会津さざえ堂の「いま」を再認識するとともに、「これから」、文化財の保存活動について考える。



鈴木博之（すずき・ひろゆき）
青山学院大学 教授

東京大学工学部卒業後、大学院に進み、1974年東京大学工学部専任講師、1975年までロンドン大学コートールド美術史学研究所に留学。東京大学助教授を経て教授に就任。2005年に紫綬褒章を受賞。2009年より現職。



六角鬼丈（ろっかく・きじょう）
東京藝術大学 名誉教授

東京藝術大学美術学部建築科卒業後、磯崎新アトリエを経て、1969年六角鬼丈計画工房を開設。1991年より東京藝術大学教授。2009年より同大学名誉教授。



熊倉純子（くまくら・すみこ）
東京藝術大学音楽環境創造科 准教授。

パリ第十大学、慶應義塾大学卒業後、1992年から2002年まで（社）企業メセナ協議会に勤務。企業のメセナ活動や芸術普及プログラムなどの研究・開発に携わる。専門は文化支援、アートマネジメント。2002年より現職。



腰原幹雄（こしはら・みきお）
東京大学生産技術研究所 准教授

東京大学工学部建築学科卒業後、構造設計集団<SDG>を経て、2001年東京大学大学院建築学専攻助手、2005年より現職。

【参加申込方法】

参加費：無料 懇親会費：¥1,000

氏名（ふりがな）・所属（会社名または学校名）・連絡先（メールアドレスまたは電話番号）・シンポジウム参加申込人数・懇親会参加申込人数をご記入の上、メール又はファクシミリにて、下記問い合わせ先までお送り下さい。

【問い合わせ先】

「会津さざえ堂 いまとこれから」実行委員会

東京大学生産技術研究所 腰原研究室内

Tel: 03-5452-6842 Fax: 03-5452-6841

Mail: mokuzo@iis.u-tokyo.ac.jp



〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1
東京大学（東京大学生産技術研究所）駒場リサーチキャンパス